

Forest 通信 H28 5

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO.327

巻頭 photo



高尾山の生きものたち

オーシーツクツク?

今年も例年どおり、夏鳥のキビタキがやって来ました。説明の用がないほど美しい鳥で、新緑によく映えます。

全長約 14cm と小型ですが、その美声は森の中でもよくとおり、その存在が分ります。オーシーツクツクと鳴いたり、コジュケイのような鳴き方をします。

5月10日から16日は「愛鳥週間」ですので、野鳥観察をお勧めいたします。

今月の一句

「セミなのか オーシーツクツク 鳥でした」

(フォレストサポートスタッフ 大作 栄一郎氏)



キビタキ (ヒタキ科)

二美ちゃん 富ちゃんの



コクサギ (ミカン科)

高尾山の沢沿いに生えている。真夏を過ぎたころに葉の出方が面白いのですぐに覚えた植物である。コクサギ型葉序といって葉が2枚づつ並んで互生になっている。ほかにも同じようになっている植物はあるようだが少数だ。それとこの葉を揉んで臭いを嗅ぐと「ウエッ」となるような臭気がありこれを嗅いだ人は一様に嫌な顔をする。以来コクサギとはそういうものだという思い込みがあった。

早春の森で親子を案内する観察会があったときにコクサギの新葉が展開していたので面白そうだと思いこの葉の臭いを嗅いでもらった。ところがこちらの期待していたものとは裏腹に「いい匂い」「コーヒーの香りがする」「好きな匂いです」という答えが返ってきた。嘘だろうと私も嗅いで

みるとあの時の臭いとはかけ離れたものであった。

以来、コクサギの新葉はコーヒーの香りと記憶されることになった。それぞれに感じ方は違うので最初からきめつけはしないで「どうですか」ということにしている。

コクサギの種であるが、熟する手前の少し緑色の皮をむくと真珠色の殻が現れる。最初これを見つけた時に森の真珠を見つけたと、内心ほくそ笑んだものである。せっせと皮をむいてフィルムケースに入れておいた。しばらくして蓋を開けてみたら愕然としたものである。なんと、硬い皮はねじれていて、黒い種があった。こうして一攫千金の夢がはじけた瞬間であった。(富)



2列互生の葉



はじけた種子



「春の香りに誘われて」

～スミレやフタバアオイがひっそり咲く日影沢へ～

森林ふれあい推進事業イベントの2016年度、森林インストラクター東京会の第一弾「春の香りに誘われて」が4月8日（金）実施されました。

参加者44名、JR 高尾駅北口から小仏行バスに乘車。コースは日影沢林道～一丁平（昼食）～富士見台園地～薬王院～ケーブル高尾山駅、桂林の下で開会式、諸注意等を終え、さあ班ごとに出発。最初に見つけたのはエンレイソウ。うつむいて咲くモミジイチゴの白い花に思わず「このイチゴ、おいしいんだよね！」と何度も高尾に来ている参加者の声。ヤマエンゴサク、ムラサキケマンでは花の仕組みと昆虫の話。

トウゴクサバノオ、ミヤマハコベ、ちっさな春の花が次々咲いている。その間をタチツボスミレが見つけないで。すみれの種とアリの話。私達にそっぽを向き艶やかなうなじを見せるミミガタテンナンショウ、釣り糸を垂れるウラシマソウでは性転換の話を。「くさい!」「いい香りだよ」意見の分かれるコクサギの新葉。アブラチャンやアオキの花もとてもかわいい。

日影沢の兩岸は植生が回復したニリンソウで埋め尽くされています。ヒカゲスミレ、タカオスミレ、ヨゴレネコノメ、ヤマネコノメソウ。フタバアオイの下向きに咲く小さな花の中を鏡で覗き、次にコチャルメルソウの種の話に「ふしぎな花達!」

もろい粘板岩の割れ目からの冷たく清らかな湧き水で600Mに満たない高尾山の北斜面には様々な春の花が次々と咲きます。岩の隙間にできた穴からはタゴガエルの鳴き声も聞こえます。ミヤマキケマンの前でちゃんと羽化できなかった「昔トンボ」が必死にしがみ付いていました。林道を外れ一丁平へ登りつめ、満開の桜の下でにぎやかな昼食タイム。

昼からはクロモジ、キブシ等雌雄異株の花を見比べながら南面を元気良くハイキング。ニオイタチツボスミレの香りは? シュンラン、ヒナスミレ、エイザンスミレ等。キジョランの上ではアサギマダラの幼虫発見。男坂を通り「役の行者」に腰痛よけ祈願をして浄心門をくぐり、「霊気満山」神聖な神の領域をでる。

今回は「植物と昆虫の関係」をメインテーマに楽しく春の高尾山を元気に歩きました。裏高尾のメインコースを女性講師で固めたこのイベントは今回で4度目になります。（もちろん男性アシストがサポートするのでご心配無く）今年来られなかった方はぜひ来年お越しください。お待ちしております。

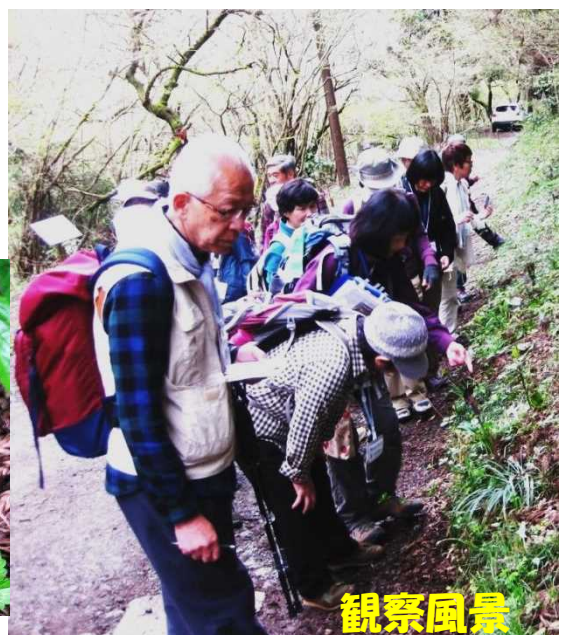
（写真・文：森林インストラクター東京会 前田 満子氏）



フタバアオイ



タカオスミレ



観察風景



中央区立 佃島小学校

好天にめぐまれて、4月15日（金）に佃島小学校の5年生93名が森林学習、丸太切り、森林観察を体験しました。

パワーポイントでは森林の働きについて学び、「地球温暖化」についての話では、「未来の環境を守るために緑を大切に育てたい」という感想も。

丸太切りではノコギリを使って、汗だくになりながら頑張っていました。

森林観察では、卵からかえったばかりの、ヒキガエルのオタマジャクシも観察できました。

ヤマビコのポイントでは、恥ずかしがって声が出なかった子どもたちも、最後には大声で「ヤッホー！」と叫ぶことができました。

たくさんの山野草の花、芽吹いたばかりの木々の緑につつまれて、終始ゴキゲンだった生徒たちも、終盤に近づくにつれて「帰りたくないよ・・・」とポツリ一言。

都会の真ん中から来た生徒たちは高尾の自然を満喫して帰路につきました。



～新人紹介～

4月に高尾森林ふれあい推進センターセンターに来た3名の新職員を紹介します。



屋代 所 長

出身地は茨城県です。

この度、高尾森林ふれあい推進センターで勤務することになりました。

不慣れな点多いかと思いますが、歴史ある高尾山近隣の国有林野をフィールド拠点として、関係者の皆様と一緒に「森林ふれあい推進事業」等に取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

また、私たち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受け止め、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向け全力で行動します。私を含めセンター全職員で頑張っていきます。



谷山 自然再生指導官

4月1日付けの人事異動で、高尾森林ふれあい推進センターでお世話になることになりました谷山と申します。

15年ほど前に、森林ふれあい業務に携わったことがありますが、わずか8ヶ月の短い期間であったため、ふれあい業務に関する知識も殆どありません。

しかし、高尾森林ふれあい推進センターでは官民協働による森林教育の実行体制が整っていることに加え、高尾の森林をフィールドに実際に自然とふれあい、体験しながら学ぶことができる環境にあることから、当センターに関わっていただいている皆さんと連携し、林業や森林の役割、自然のすばらしさ等を伝えることができればと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



磯田 専門官

4月より、高尾森林ふれあい推進センターに勤務することになりました磯田です。

今回初めての勤務となりますが、まず感じたことは、「毎日あの高尾山に行けるのか！」ということでした。

そして張り切って赴任したのですが、いざ仕事で現場に出かけてみると、植物の名前も全然わからず「どうしよう！子供たちに教えられない！」とパニックに。今は植物図鑑を片手に悪戦苦闘の毎日です。50歳の大きくなって、体重増加、頭髪減少、家庭内の地位の低下等々、明るい話題は少なくとも、勤務地が世界屈指の観光スポットであることは大きな喜びです。すでに初老ですが、心は少年のままに日々過ごしていきたいと思えます。

昆虫探偵団

オトシブミの不思議

セッコクと初夏の 草花を訪ねて

開催日：平成28年5月29日（日）
対象：小学生とその保護者
定員：30名（応募者多数の場合は抽選）
参加費：一人200円
募集期間：平成28年4月1日～5月12日
応募方法：《往復はがき》に

- ① 「昆虫探偵団オトシブミの不思議」参加希望と明記
- ② 申込者の住所、氏名、年齢、電話番号
（緊急時連絡の為必ず記入）
- ③ 同伴参加希望者がいる場合は全員の氏名、年齢
- ④ 往復はがきの返信面に申込者の宛名

を記入し申込先へ郵送してください。

申込先・問い合わせ先：

東京都高尾ビジターセンター
住所：〒193-0844
東京都八王子市高尾町2176
電話番号：042-664-7872
休館日：毎週月曜日（月曜日が休日の場合は
翌日）

集合場所・時間：JR高尾駅北口改札出口
午前9：00集合

解散場所・時間：裏高尾 日影沢園地
午後2：20頃（JR高尾駅行バス停まで徒歩
15分くらい）

開催日：平成28年5月26日（木）
集合：高尾森林ふれあい推進センター
午前9時（京王線高尾山口駅徒歩5分）
解散：ケーブル高尾山駅付近15時頃
コース：6号路-琵琶滝-山頂（昼食）-4号路-
ケーブル高尾山駅
参加費：1,700円
持ち物：弁当、飲み水、雨具、敷物、双眼鏡（あ
れば）等
募集人員：30名（申込み多数の場合は抽選とな
ります。）
申込み：[A]往復はがきに

- ①参加者全員の氏名、年齢、性別
- ②代表者の住所、電話番号（携帯、自宅）、
あればメールアドレス
- ③「このイベント何でお知りになりました
か？」
- ④返信面の宛名をご記入の上、
〒193-0844東京都八王子市高尾町2438-1
高尾森林ふれあい推進センター
森林ふれあい推進事業
「セッコクと初夏の草花を訪ねて」係
までお送りください。

申込み：[B]メール fit.fureai@gmail.com
上記①、②、③を明記の上、お申込み下さい。
締切日：平成28年5月12日（木）必着
問合せ先：森林インストラクター東京会
長谷川 守
（携帯）090-6946-7897
（メール）ku-go.6804da@nifty.com



森林教室で子どもたちから
「この花の名前はなんていう
の？」と質問され「そ、それ
は…ミミガタテンナンショウ
というんだよ！」萎縮した脳から絞り出す。
言わなきゃいいのに「おじちゃん、実は4
月からの新人なんだ」と。
すかさず女の子から「あたまハゲてるの
に新人なの？ハハハ！」ふっ～（磯）

Forest 通信 No.327

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター
【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】
林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1
電話 042-663-6689 FAX042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>